

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	14 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	屏風のおかげ踊り絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1987年(昭和62)3月10日				
所在地	磯城郡三宅町屏風				
所有者 管理者	杵築神社(屏風杵築神社)				
員数	1面				
時代区分	江戸から明治移行期 1868年(慶応4年・明治元年)				
樹木の場合	(樹木名)	—		(樹齢)	—
案内板の状況	鳥居を入ったすぐ右側に三宅町教育委員会設置の絵馬の説明板あり。傷みや汚れはない。				
公開	拝殿の中に飾られており、観覧は自治会が保管する鍵で拝殿扉の解錠が必要。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(拝殿中での保管で、風雨は防げる状態にある)				
当面の課題	拝殿中での保管であり、速やかに対応すべき課題は無い。				
今後の課題	奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など、補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題が先に発生する事が考えられる。				
その他 (由緒など)	伊勢太神宮(いせだいじんぐう)へのおかげ踊りの絵馬は、慶応4年9月吉祥日に里氏子たちが奉納したもの。太神宮の旗を立て、40人ほどの人たちが三味線などにあわせて踊りゆく姿は、当時のおかげまいるの賑わいを偲ぶことができる。(三宅町観光案内より)				
コメント	所有者の屏風杵築神社は太子道に面する旧村社で祭神は須佐男命。おかげ踊り絵馬の保存状態は良く、踊りをする人びとの姿・表情や、書かれている文字も良く残っている。屏風という地名は村人が太子をもてなすとき屏風を立てて風を防いだことから名づけられたと伝わる。拝殿には、この様子を描いた聖徳太子接待絵馬なども奉納されている。当日は、三宅町ボランティアガイドの方に案内をお願いした。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	10月	14日	記入者	鶴田吉範
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	屏風のおかげ踊り絵馬
------	------------

おかげ踊り絵馬(拝殿内)



絵馬説明板(三宅町教育委員会)



三味線を弾く女性(絵馬一部)



聖徳太子接待絵馬



絵馬がある拝殿



屏風杵築神社(正面)

